

「もったいない」を「分かち合い」・「ありがとう」へ

公益社団法人フードバンクかながわは
県内12の非営利団体の協同により設立され運営される
「もったいないを分かち合い・ありがとう」へとつなぐフードバンクです。



フードバンクかながわ

2022年度

事業活動のご報告



食支援団体へパンの提供



能見台南小学校（横浜市）での
フードドライブ

食支援の新たな取り組みが拡がりました



仙台市の中学校が修学旅行で SDGs 学習



横浜市立大学へ冷凍食品の提供

年間事業活動報告

2023年3月31日現在

● 年間寄贈食品	重量 365.2 トン	寄贈合意書締結団体	266 団体
企業・生協・JA 等	218.2 トン	防災備品等（再掲）	150 団体
フードドライブ	119.5 トン	提供合意書締結団体	326 団体
寄付金での購入	27.5 トン	行政・社会福祉協議会	61 団体
● 年間提供食品	重量 367.9 トン	市民団体	265 団体
行政・社会福祉協議会	58.9 トン	フードドライブ回収拠点	344 か所
地域のフードバンク	136.3 トン	賛助会員団体	217 団体
子ども / 地域食堂	122.5 トン	賛助会員個人	308 人
施設・福祉	16.7 トン	寄付累計	76,174,557 円
外国関連支援	33.5 トン		

2022年度寄付 22,506,190 円



決算報告は総会后ホームページにアップします

代表理事・常務理事のあいさつ



共同代表 當具 伸一
神奈川県生活協同組合連合会会長
生活協同組合ユニーコープ理事長

日頃より、フードバンクかながわへのご理解・ご協力ありがとうございます。『「もったいない」を「分かち合い」・「ありがとう」へ』をスローガンに

発足したフードバンクかながわも当初想定を超えて活動規模をひろげることができております。

一方、新型コロナウイルス感染拡大の中で、以前からあった地域社会の中の「格差と貧困」はこれまで以上にひろがっており、「食支援」を中心として支援を必要とする人たちが増えてきています。

このような状況の中で、行政・社協・民間支援団体が一体となって「地域のセーフティネット」づくりがますます強く求められています。フードバンクかながわが「地域の食支援のプラットフォーム」となり一層、中間組織としての役割を果たすことができますように、皆様方の倍旧のご支援を御願いたします。



常務理事 半澤 彰浩
生活クラブ生活協同組合専務理事

経済のグローバル化、戦争、感染症パンデミックは産業革命以降の近代化・資本主義の展開という人類の文明的ステージの中で繰り返し起こってきたことですが、今回は「地球」が自ら回復できない限界の状況で戻れないかもしれません。コロナや鳥インフルエンザをはじめとした感染症パンデミック、戦争、気候危機、生物多様性の危機に共通していることは「人間」がその危機を生み出していることです。危機は私たちの問題であり、私たちの暮らしの問題でもあると思います。相互依存関係を当事者性に転換していくことが急がれます。間に合わないかもしれません。そしてそのことが格差貧困を拡大しています。2022年に自死した小学生の数は512人で過去最多となりました。1日に1人以上の子供が「助けて」と言えないで自ら命を絶ってしまう日本社会です。

誰も当事者性を発揮できる社会、弱さと小さくあることの重要性、「いのち」の危機を切り抜けていくためには、小さくて強い共同体をつくり直して、つないでいくことしかないのではないのでしょうか。フードバンクかながわの活動がそうした機会やネットワーク形成につながっていくことをめざしたいと思います。



共同代表 吉坂 義正
日本労働組合総連合会神奈川県連合会会長
神奈川県労働者福祉協議会会長

新型コロナウイルス感染症との闘いも3年が過ぎ、徐々に落ち着きを見せており、経済活動が日常を取りもどしつつある今日でも経済困窮から抜け出せない人がある中で、ロシアのウクライナ侵攻が拍車をかけた物価高が家計を圧迫し、その影響が不安定

な雇用で働く人や女性など、弱い立場にいる人たちに深刻に表れています。このような中で、フードバンクかながわも発足して、5年が経過し昨年より冷凍食品の取り扱いもはじめ寄贈・提供が発足当時の7倍以上の350トンを超える活動規模へと拡がっています。ご支援・ご協力いただきました皆さま方に、心から感謝申し上げます。

私たち労働福祉団体も昨年引き続き「お米一合運動」や「フードドライブ」活動を展開し、昨年を上回る食品を届けることが出来ました。今後も「フードバンクかながわ」の安定した事業運営と事業拡大に向けて、「お米一合運動」やイベント時の「フードドライブ」活動を継続するとともに、更なる賛助会員の拡大、学習会や体験研修を通じて、「知ってもらい・伝えてもらい・行動する」を多くの働く仲間にも広げる運動に取り組んでまいります。引き続きの皆さま方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

常務理事 渡邊 たかし
生活協同組合パルシステム神奈川県専務理事



コロナ禍も少しずつ元のくらしに戻りつつあります。一方で、ロシアのウクライナへの軍事侵攻の終わりが見えない中で、物の不足や高騰などから、世界では格差と貧困が広がり続けています。

私たちも、フードバンクかながわの活動を通じて、今日、そして明日のくらしに困窮している人たちが増えていること実感しています。一方で、私たちの活動に賛同し、協力していただける人たちが増えてきたことも実感しています。

フードバンクかながわの活動を始めて5年。私たちが目指す「もったいない」を「わかちあい」・「ありがとう」へが大きな輪となってきています。私たちは、それぞれの「一人は万人のために、万人は一人のために」の想いをつなげる役割をしっかりと果たしていきたいと思っています。

この活動が地域や社会を支えるプラットフォームになっていくために、多くの方に参加をいただきたいと願っています。参加の仕方は多様です。それぞれの参加の仕方でもフードバンクかながわを支えていただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

新たな取り組み



(紙面の都合で敬称略といたします)

冷凍食品



㈱セブン&アイフードシステムズ
冷凍ハンバーグ

中核的フードバンクによる地域包括支援体制事業 (休眠預金活用助成事業 パブリックリソース財団)

助成事業2年目は冷凍食品の取り扱いに向け、2トン冷凍車、団体貸し出し用冷凍庫の整備を行い、4月より金沢倉庫で受取可能な団体への提供が始まりました。冷凍食品寄贈企業も徐々に広がり、年間の取扱量は25.2トンになりました。



㈱セントラルフーズ
冷凍肉



カゴメ㈱ 冷凍野菜

マルハニチロ㈱
冷凍鶏唐揚げ

フードパントリー参加者の声

NPO法人フードバンク浜っ子南(横浜市)

冷凍食品は日持ちもするし、普段いだけ缶詰やレトルトにはないおいしさがあるって、お弁当のおかずとしても朝起きる時がつらい時の頼りになるし、違うものが食べられる感覚です。親を待っている間に子どもが一人でも食べることもできますし、とても助かります。

お弁当のおかずがない時や作れない時、帰りが遅くなってしまった時、体調が悪い時など、冷凍食品が冷凍庫にあると思うとホッと心にゆとりができます。

冷凍ストッカー 29 台を購入、食支援団体に無償貸与しました。



(横浜市都筑区)でも同様の取り組み開始に向けて準備が進んでいます。

パン

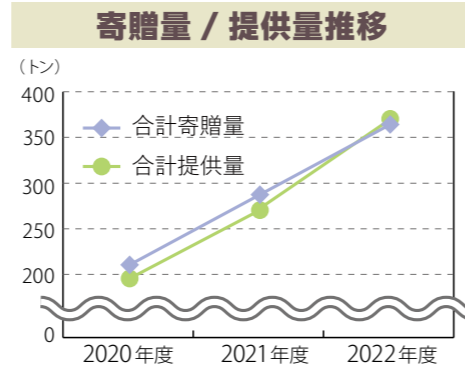
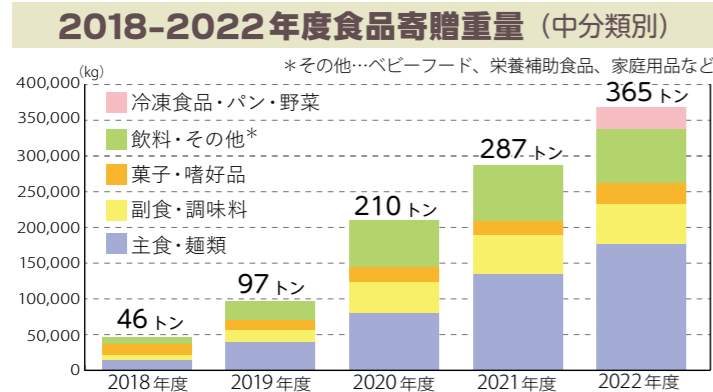


山崎製パン㈱横浜第一工場(横浜市戸塚区)より当日焼きのパン100個を月曜日～金曜日まで毎日ご寄贈いただき、5月より金沢倉庫で当日受取可能な団体に提供しました(累計3.6トン、提供回数:211回)。2023年度からは横浜第二工場



2022年度 フードバンクかながわの概況

食品の寄贈 660回 365.2トン (2021年度実績:287.1トン)
食品の提供 3,594回 367.9トン (2021年度実績:270.3トン)



事業者からの米寄贈・米一合運動・米一合プロジェクト



基幹労連米一合運動



セカンドリーグ
神奈川

相模原市立
田名小学校

相鉄ローゼン㈱創立60周年を迎え、SDGsの一環として、2021年度の有料レジ袋収益金を活用して㈱ミツハシより購入した米5トンを寄贈いただきました。



事業者寄贈
災害備蓄品
245.7 トン

事業者からの食品寄贈により食品ロス削減に協力しました

フードバンクかながわは「もったいない」を「分かち合い」・「ありがとう」へをモットーに活動しています

企業・生協等からの食品の寄贈には食の安全を重視し、双方の信頼関係に基づく合意書を取り交わしています。合意書締結団体は266団体。事業者からの寄贈は218.2トンとなりました。(紙面の都合で敬称略とさせていただきます)



寄贈重量 (トン)

*災害備蓄品

セカンドリーグ神奈川	46.4
ユーコープ	18.0
コカ・コーラBJ(株)	11.9
キリンビバレッジ(株)	11.7
横浜市総務局*	10.1
日本生活協同組合連合会	7.9
マルハニチロ(株)	7.3
(株)ミツハシ	7.2
パルシステム神奈川	7.0
(株)セントラルフーズ	6.6
小田急電鉄(株)*	6.4
京都府	5.5
相鉄ローゼン(株)	5.0
神奈川県労働者福祉協議会	4.2
(株)セブン&アイ・フードシステムズ	4.0
山崎製パン(株)	3.6
(株)クラダシ	3.5
カルビー(株)	2.8
(株)湘南ユニテック*	2.6
神奈川トヨタ自動車	2.4
アクセンチュア(株)	2.3
相模原市*	2.3
(株)資生堂	2.3
味の素(株)	2.3
(株)オリエンタルランド*	2.2
カゴメ(株)	2.1
大塚商会	2.0

2トン以上掲載



フードドライブ
119.5 トン
(2021年度 76.4トン)

フードドライブ実績

イトーヨーカドー 31 店舗	22.8 トン
パルシステム神奈川	19.9 トン
ユーコープ	13.6 トン
そうてつローゼン 17 店舗	8.8 トン
労働団体関係	7.5 トン
無印良品 30 店舗	6.9 トン
個人寄贈 (持込・直送 531 名分)	6 トン
生活クラブ	4.3 トン
JA 関係	2.9 トン
中栄信用金庫	2.4 トン

2トン以上掲載

食品ロス削減・わかちあいの輪が広がりました

フードドライブはSDGs活動とともに実施団体が増え、イトーヨーカドー31店舗、そうてつローゼン17店舗、無印良品30店舗、イオン2店舗等、フードドライブ回収ボックスが常設されています。銀行や信用金庫、百貨店、自動車販売会社等でも期間を決めて回収ボックスが設置されるなど、フードドライブの取り組みが広がっています。(紙面の都合で敬称略とさせていただきます)



学校でもチャレンジ

身近なSDGsとして食品ロス削減を学ぶため、フードバンクかながわへ講座の依頼が増えました。中学校・高等学校の修学旅行での体験研修や、小学生自身が食品ロスやフードバンクについて調べ、実際にフードドライブ活動に取り組むなど、体験型の学習が広がっています。

横浜市立大学では、学生への食支援としてフードドライブ活動を行いました。



神奈川県庁でのフードドライブに取り組んで

県政事務局のち・未来戦略本部 SDGs 連携グループ室 窪田智也さん

神奈川県ではSDGsの具体的なアクションの1つとして、フードドライブを推進しています。フードバンクかながわを始め、多くの団体が積極的に活動しており、県は、こうしたフードバンク・フードドライブ活動に多くの方が参加していただけるよう呼び掛けています。10月の食品ロス削減月間では、「かながわSDGsパートナー」を始めとした企業・団体に対して、活動への参加を呼び掛けることで、多くの方のフードドライブへの認識が高まりました。

このような取組と合わせ、同じく10月に神奈川県庁でもフードドライブを実施し、多くの食品をフードバンクにお届け

するとともに、職員自らの行動のきっかけとすることができました。県内には、貧困を始めとした社会課題解決に関心を持つ方が多くおり、フードドライブへの関心も広がっております。今後もフードドライブの周知を行い、実際にアクションを起こす方を増やして参りますので、ぜひ皆様の御協力をお願いいたします。

県庁でのフードドライブ(左)とドライブ品の持ち込み(右)の様子



提供 368 トン 268 団体 3,594 回

コロナ禍と諸物価高騰の影響で、食品を必要とされる方々が増えています。

(団体内訳：行政社協 47 団体、フードバンク 58 団体、こども食堂 133 団体、施設・福祉外国等 40 団体)



カナンキリスト教会



おもしろネットワーク



コロナ対策プロジェクト in 港北



なかよし大船子ども食堂



フードパントリー & みんなの居場所ぶどうの木



ちゃり tea 屋



こどもすまいる食堂



ともだちの家



キッズカフェ杉田



おむすびころりん



たすけあい



こども食堂ごはんたよ



メダカのお弁当



ふじぼけ



フードバンクふじさわ



スマイルオブキッズ



NPO 法人おもしろカンパニー



チームやどりぎ



NPO 法人サテラ



横浜市立大学



ふれんど♡らぶ



おむすびの会



みんなの一色子ども食堂



RCB 大口夢



Table for Children's Cafe きみえ食堂



南湖ハウス



横浜市母子寡婦福祉会



いとしのエリーズ



food not bombs yokosuka



子ども家庭支援センターゆいの木



となりのれすとらん



神奈川フードバンク・プラス



ニャトワンみんなの食堂



はやぶさ工房



フードシェア いちがわ



ひよこカフェ



たかつフードバンクチーム



スペースナナ



フードバンクえんむすび

会員団体の活動

フードバンクかながわは神奈川県内の非営利協同12団体により設立しました。フードバンク事業を通じ地域の「たすけあい」「支え合い」「分かち合い」、相互扶助の社会づくりをめざして活動しています。

生活協同組合ユーコープ

組合員からの声からスタートしたフードドライブ回収ボックスの常設は22店舗に広がり、「いつでもフードバンクに食品を寄贈できる」と大変喜ばれています。また、夏、冬の年2回、全77店舗でフードドライブを実施しています。エリア会が取り組む米一合プロジェクトも広がっています。



県央1エリア 米一合プロジェクト



夏休み親子フードバンク体験



フードドライブ品

生活協同組合パルシステム神奈川

年2回のフードドライブ実施に合わせて「おもしろセット」に取り組みました。提供できる食材がない時にも支援できればとの組合員の声から生まれました。「お米でつながるみらいアクション」では組合員が購入した対象の米の量に応じて1%にあたるお米をフードバンクかながわに寄贈、お米の購入を通じた助け合いを広げました。



「お米でつながるみらいアクション」寄贈の米



おもしろセット

入した対象の米の量に応じて1%にあたるお米をフードバンクかながわに寄贈、お米の購入を通じた助け合いを広げました。

神奈川労働者福祉協議会

結成50周年記念事業として、米一合運動やフードドライブに集まった食品重量と同量の米を寄贈しました。



米一合運動マッチングギフト



三浦半島労協体験研修

公益財団法人横浜 YMCA

ウクライナの子どもたち保養支援、ウクライナからの居住者への支援活動では、フードバンクかながわからお菓子や軽食などを提供し、食支援で連携しました。



ウクライナの子ども支援

ウクライナからの居住者への食支援



中央労働金庫神奈川本部

記念支店開設17周年



フードドライブ品を寄贈

こくみん共済 COOP

公益財団法人かながわ生き生き市民基金

協同組合連携によるオーダーメイドの助成事業に取り組みました。



JA 横浜 ▶ 子どもの未来支援助成

ユーコープ 子ども食堂・地域食卓応援助成▲

生活クラブ▶ ソーシャルインクルージョン助成▲

神奈川県生活協同組合連合会

神奈川県議会各会派との予算要望のヒアリングで県政に対する生協の要望を伝え、食支援活動、フードバンク活動についての意見交換を行いました。



県政要望



質疑交歓会でのフードドライブ

特定非営利活動法人 参加型システム 研究所

フードバンクかながわの事業や食支援活動情報を発信しました。



参加型システム 140～142号

生活クラブ生活協同組合

年2回のフードドライブの取り組みとともに、3年ぶりの実開催となった東日本大震災・復興まつりではフードバンクかながわも出展し、フードドライブに取り組みました。



共済たすけあい委員会体験研修



復興まつりでのフードドライブ



フードドライブ

日本労働組合総連合会神奈川県連合会



フードドライブ(上)
組合OB・OGで組織する神奈川シニア連合による体験研修(右)



神奈川シニア連合

神奈川県農業協同組合中央会

自家栽培米とフードドライブ品の寄付(右) JA さがみ女性部(下) JA はだの女性部(右下)



自家栽培米とフードドライブ品の寄付(右)

さまざまな活動

ボランティア参加 915名

事業者寄贈やフードドライブの広がりによってたくさんの食品が倉庫に届き、毎日の仕分け作業に参加するボランティアの皆さんの力は欠かせません。 JA 横浜たすけ愛チームによるボランティア



ユーコープ湘南2エリア ボランティア



食品ロス削減コースター デザインコンテスト

小学生部門、中高生部門、一般部門の最優秀作品優秀作品をコースターに作成しました。



左列が最優秀作品 (上から小学生の部、中高生の部、一般の部)

NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会の横浜市就労準備支援事業の実習生を受け入れています。

フードバンクに関わる政策研究会

以下の通り実施。()内は講師

第1回：フードバンクふじさわの設立と地域連携力

(フードバンクふじさわ 鷺尾公子さん)

第2回：ビーバーリンクとは (NPO 法人セカンドリーグ 神奈川 六角 薫さん)

第3回：横浜市のひとり親と政策的支援 (金沢子ども食堂すくすく 加々美マリ子さん)



SDGs食品ロス削減副読本『食品のひみつ』

小学校5年生から学ぶSDGsの具体的な活動としてフードバンクを学ぶ副読本。2020年版のデータを更新し教員用指導要領も作成。

食支援活動をステップアップする情報交換会

第1回：フードバンク・フードパントリー活動の現状と展望

▶ 2022年10月20日(木) 64名参加

- ① (一社) 全国フードバンク推進協議会 代表理事 米山廣明さん
- ② フードバンクかわさき 代表 高橋実生さん
- ③ NPO 法人ワンエイド 理事長 松本篤さん、理事 石塚 恵さん
- ④ NPO 法人報徳食品支援センター 理事長 本岡俊郎さん

第2回：冷凍食品のロスを食品支援に活用する

▶ 2023年3月2日(木) 65名参加

- ① マルハニチロ(株) サステナビリティ推進部 主任 志村遥夏さん
- ② (一社) 全国フードバンク推進協議会 代表理事 米山廣明さん
- ③ NPO 法人報徳食品支援センター 理事長 本岡俊郎さん
- ④ (公社) フードバンクかながわ 事務局長 藤田 誠
- ⑤ 横須賀市民生局 福祉専門官 北見万幸さん
- ⑥ NPO 法人フードバンク浜っ子南 理事長 下山洋子さん
- ⑦ 金沢子ども食堂すくすく 理事長 加々美マリ子さん

「冷凍食品におけるフードロスの現状と課題」について報告



マルハニチロ(株) 志村遥夏さん

学習会・体験研修・視察 87回 1,741人



相模原市立内出中学校

横浜商工会議所小売部会



神奈川大学法学部自治行政学科での講義



日本協同組合連携機構



農林水産省大臣官房統括審議官のフードバンク視察



開成町立開成南小学校

賛助会員

おおぜいの団体・市民に支えられて運営しています

法人会費▶1口10,000円 個人会費▶1口1,000円

法人の賛助会員：217団体 693口

(公開団体のみ、敬称略、数字は口数)

個人の賛助会員：308人 1,736口

お名前は割愛させていただきます

マルハニチロ(株)10	味の素(株)10	(株)あらた首都圏支社10	凸版印刷(株)10
大塚製菓(株)横浜支店10	遠州トラック(株)5	JA全農ミートフーズ(株)10	共栄火災海上保険(株)横浜支店10
日本ハム(株)10	(株)ミツハシ10	(株)日立物流南関東10	(株)カワタキコーポレーション
(株)ヨネヤマ	(株)情報システム工学10	福祉クラブ生活協同組合	富士フィルム生活協同組合10
川崎医療生活協同組合	三菱食品(株)10	(株)日本アクセス	東京海上日動火災保険(株)10
横浜魚類(株)10	やまゆり生活協同組合	東都生活協同組合10	神奈川みなみ医療生活協同組合
神奈川大学生生活協同組合	加藤産業(株)10	安全輸送(株)10	神奈川北中央医療生活協同組合
ワークス・コレクティブJam	(株)ダイイチ10	(株)タカキペーカー	センター事業団神奈川事業本部
国分首都圏(株)	横浜農業協同組合5	セレス川崎農業協同組合5	北海道漁業協同組合連合会3
(株)山星屋	(株)明治	相鉄ローゼン(株)5	医療生協かながわ生活協同組合
NPO法人なんとかなる	さがみ農業協同組合5	相模原市農業協同組合5	生活協同組合うらがCO-OP3
日本食研(株)5	日本ロードマーク(株)	(株)NKトランス5	NPO法人ピッピ・親子サポートネット3
(株)伊藤園	連合神奈川職員労働組合2	川崎地域連合2	神奈川県厚生農業協同組合連合会5
(株)横浜銀行10	自治労神奈川県本部4	JAMオイレス労働組合2	全国共済農業協同組合連合会神奈川県本部5
(株)ニチレイフーズ5	日産工機労働組合2	日産自動車労働組合2	(株)神奈川県農協情報センター5
フジッコ(株)10	基幹労連神奈川県本部2	三浦半島地域連合2	神奈川県信用農業協同組合連合会5
日産車体労働組合2	日興電機労働組合2	中地区教職員組合2	オリックス自動車(株)横浜支店10
県中央地域連合2	相模原労働者福祉協議会2	湘南教職員組合2	一社神奈川県労働福祉センター(ワークピア)3
川崎市教職員組合2	西湘地域連合2	湘北教職員組合2	日本郵政グループ労働組合神奈川県連絡協議会2
相模原市教職員組合2	横浜労働者福祉協議会2	小田原・足柄地域連合2	神奈川県電力関連産業労働組合総連合2
相模原地域連合2	全日本海員生活協同組合3	(株)三菱UFJ銀行10	神奈川県地方自治研究センター2
川崎労働者福祉協議会2	横浜地域連合14	神奈川県教職員組合2	自動車総連神奈川地方協議会2
(株)テイクフォー5	コイト電工労働組合2	(社)たすけあいゆい	日産オートモーティブテクノロジー労働組合2
西湘地区教職員組合2	ミットヨ労働組合川崎支部2	(社)いきいき福祉会3	日産労連神奈川地方協議会2
東芝労働組合小向支部2	UAゼンセン神奈川県支部10	(株)コープライフサービス	小田原・足柄地域労働者福祉協議会2
プリマハム(株)10	住友重機械労働組合連合会横須賀地方本部2		三浦半島地域労働者福祉協議会2
川崎市職員労働組合2	西湘地域労働者福祉協議会2		富士通労働組合プロダクトグループ2
三浦半島地区教職員組合2	全印刷局労働組合小田原支部2		電機連合神奈川県地方協議会2
JFE物流京浜労働組合2	三菱ふそう労働組合本社支部2		全駐留車労働組合神奈川地区本部2
Café de FUKUSHIMA	全日本運輸産業労働組合連合会神奈川県連合会2		横浜労働者福祉協議会東部支部2
ボッシュ労働組合10	伊藤ハム(株)10	神奈中ハイヤー労働組合2	神奈川県教職員組合協議会2
かながわ教職員組合連合2	ハマ冷機工業(株)5	立建設(株)5	情報産業労働組合連合会神奈川県協議会2
森永乳業(株)10	(有)Room for	横浜市教職員組合旭支部	三菱重工グループ労働組合連合会本社・横浜地区本部2
横浜市教職員組合西支部	横浜市教職員組合南支部	横浜市教職員組合鶴見支部	横浜みなみ生活クラブ生協金沢 commons 運営委員会
横浜市教職員組合港南支部	横浜市教職員組合磯子支部	横浜市教職員組合金沢支部	湘南地域労働者福祉協議会2
横浜市教職員組合中支部	横浜市教職員組合港北支部	横浜市教職員組合青葉支部	横浜市教職員組合神奈川支部
横浜市教職員組合緑支部	横浜市教職員組合都筑支部	横浜市教職員組合戸塚支部	横浜市教職員組合保土ヶ谷支部
横浜市教職員組合栄支部	横浜市教職員組合泉支部	横浜市教職員組合瀬谷支部	横浜市教職員組合事務職員部
横浜市教職員組合女性部	横浜市教職員組合障がい児連絡協議会		横浜市教職員組合養護教員部
サトウ食品(株)10	東京電力労働組合神奈川地区本部相模原支部		横浜市教職員組合栄養教員部
(株)日立製作所10	東京電力労働組合神奈川地区本部横浜火力支部		東京電力労働組合神奈川地区本部東扇島火力支部2
まいばすけっと労働組合2	東京電力労働組合神奈川地区本部川崎支部2		東京電力労働組合神奈川地区本部藤沢支部2
キッコーマン食品(株)10	東京電力労働組合神奈川地区本部横浜支部2		東京電力労働組合神奈川地区本部川崎火力支部2
東京電力労働組合神奈川地区本部神奈川カスタマーセンター支部2			川崎労働者福祉協議会商社会
パナソニックオートモーティブシステムズ労働組佐江戸支部2			みどり commons エッコロひろば「大人のたしなみ」
(有)彩環2	二宮町社会福祉協議会	(株)アイホーム	全日本水道労働組合関東地方本部神奈川県支部
企業組合エコ・アド	横浜東部地区連合2	横浜西南地区連合2	横浜みなみ生活クラブ生活協同組合
横浜なぎさ地区連合2	横浜西部地区連合2	横浜北部地区連合2	横浜北生活クラブわかば commons
横浜戸塚地区連合2	山崎製パン(株)	有限会社アクセル	横浜北生活クラブあおば commons
横浜水道労働組合	全水道川崎水道労働組合	JAM神奈川2	横浜北生活クラブつづき commons
イワタ工業(株)5	かわさき生活クラブ生活協同組合		横浜北生活クラブみどり commons
NTT労働組合神奈川分会	神奈川県高等学校教職員組合2		横浜北生活クラブつづき commons
東京電力労働組合神奈川地区本部	さがみ生活クラブ生活協同組合	湘南生活クラブ生活協同組合	生活クラブ湘南ふじさわ commons
横浜ゴム労働組合平塚支部2	全水道横須賀水道労働組合	神奈川県漁業協同組合連合会	全水道神奈川広域労働組合
横浜北生活クラブ生活協同組合	株式会社ティーカラ-3	厚木愛甲地域連合	東京サラヤ株式会社南関東支店2
木内建設株式会社	神奈川トヨタ自動車株式会社10	いすゞ自動車労働組合藤沢支部2	マドレーヌ
横浜子どものあそびを語る会	湘南地域連合2	一般社団法人神奈川県地域労働文化事業団	
株式会社スズキ自販湘南5	トーヨーカネツ株式会社10	生活協同組合ナチュラルコーポヨコハマ	

ありがとうございました

(敬称略)

寄付

紙面の関係で15万円以上の寄付を掲載

ユーコープフードバンク募金	600万円	小林 義憲様	24万円
神奈川県労働者福祉基金	447万円	伊藤 玲子様	20万円
横浜銀行フードバンク応援募債	331万円	菅沢 深様	20万円
匿名 TK 様	100万円	高野山真言宗婦人会神奈川支部様	20万円
日本農産工業(株)様	100万円	エーテンラボ(株)様	20万円
アンリツ労組様	99万円	旭化成労働組合川崎支部様	19万円
佐藤 毅様	57万円	日本発条労働組合横浜支部様	19万円
鈴木 邦宏様	56万円	小林 薫様	18万円
三菱 UFJ 信託銀行(株)様	45万円	コウノノブヒコ様	15万円
横浜地域連合様	30万円	日立製作所労働組合神奈川県西支部様	15万円
JA 横浜女性部様	28万円		



神奈川県労働者福祉基金贈呈式



ユーコープフードバンク募金贈呈式



JA 横浜女性部 寄付

助成金

休眠預金活用助成金	1,150万円 (2022年分)
農林水産省助成金	1,050万円
厚生労働省助成金	300万円

ありがとうの声

- お米などたくさんの支援をくださり、誠にありがとうございます。食品は大変助かります。
- いろいろな食品が値上げされ、大変なのでとても助かります。ありがとうございます。
- このサポートのおかげで私達家族は生きていくことができます。いつか、このサポートに恩返しできるように頑張ります。
- 物価高騰で食品の値上がりがある中で、弁当をもらえたり、食品セットをもらえるのは本当に助かります。
- このような活動は家計に安心をくれるので、子どもに対してもゆとりをもって接することができるようになりました。
- ここに来れば、食品がもらえるという安心の場所になっています。母子家庭なのですが、とてもフードバンクさんからの寄付品に助けられています。
- 母子家庭で小さい弟もいる中、食費にはいつも困っていましたが、特にこのタイミングで家族がコロナにかかり、食料調達も難しくなっていた中で、本当に私たち家族の命を繋いでくださっています。ありがとうございます。

外国につながる人への支援

- コロナや働き方改革で残業減少による収入減に加え、食料品や日用雑貨の物価上昇で家計も非常に苦しいです。定期的に援助していただくことで本当に助かっています。
- コロナ禍で収入減少世帯が増え、食べ物に困る方が増えました。食事の量を減らしたり、子どもたちに満足に食べさせることができない世帯も増えており、喜ばれています。
- 「本当に助かります」「いつも助かります」と深く頭を下げられ、感謝の言葉をいただきます。月一度の配布時には必ず来ていただけるので、ご様子を見ることが出来ます。

食支援を行う団体からのメッセージ

- コロナ禍で収入減少世帯が増え、食べ物に困る方が増えました。食事の量を減らしたり、子どもたちに満足に食べさせることができない世帯も増えており、喜ばれています。
- 「本当に助かります」「いつも助かります」と深く頭を下げられ、感謝の言葉をいただきます。月一度の配布時には必ず来ていただけるので、ご様子を見ることが出来ます。
- お礼とともにお米が大変おいしいと電話があった。次回はいつかの問い合わせも多かった。開始時には2、30名の列ができる。支援を受けるだけでは申し訳ない、ボランティアを申し出る人もいます。



若者のボランティア参加

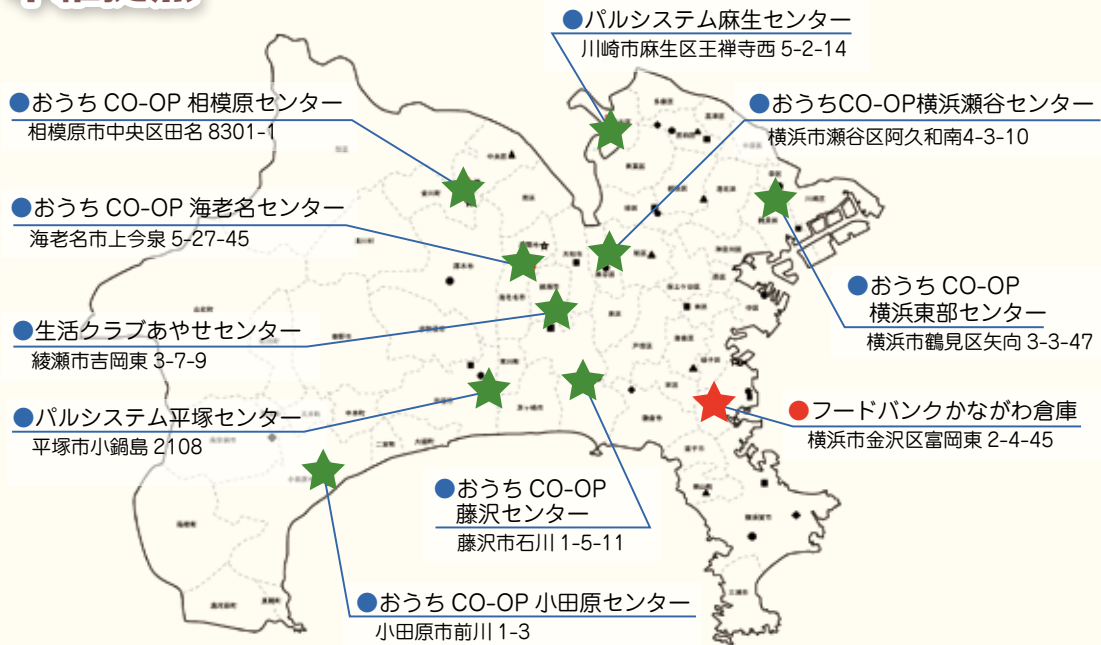


クリスマスのお菓子の寄付



米一合運動
学生とスーパーがコラボ

中継拠点



代表理事	當具 伸一	(神奈川県生活協同組合連合会会長、生活協同組合ユーコープ理事長)
	吉坂 義正	(日本労働組合総連合会神奈川県連合会会長、神奈川県労働者福祉協議会会長)
常務理事	半澤 彰浩	(生活クラブ生活協同組合専務理事)
	渡邊 たかし	(生活協同組合パルシステム神奈川専務理事)
理事	市川 敏行	(神奈川県労働者福祉協議会事務局長)
	大石 高久	(公益財団法人かながわ生き生き市民基金専務理事)
	篠崎 みさ子	(生活クラブ生活協同組合理事長)
	鈴木 紀子	(生活協同組合パルシステム神奈川常任理事)
	高橋 英樹	(中央労働金庫神奈川県本部営業担当部長)
	石川 晴美	(公益財団法人横浜 YMCA 国際地域事業チーフディレクター)
	田中 知己	(生活協同組合ユーコープ執行役員)
	四條 信仁	(神奈川県農業協同組合中央会専務理事)
	庭野 文雄	(神奈川県生活協同組合連合会専務理事)
	萩原 周子	(日本労働組合総連合会神奈川県連合会副事務局長)
	櫻井 展子	(生活協同組合ユーコープ執行役員・かながわ県本部長)
監事	数寄 真人	(特定非営利活動法人参加型システム研究所理事・所長)
	塩崎 輝幸	(こくみん共済 COOP 神奈川推進本部事業推進部部長)
事務局長	藤田 誠	(生活協同組合ユーコープ)
事務局次長	土山 雄司	(生活クラブ生活協同組合)
事務局	薩本 史朗	(生活協同組合パルシステム神奈川)
	津金 良彰	(常勤)
	小林 薫	(かながわライフサポートセンター・県労協協)
	萩原 妙子	(公益財団法人かながわ生き生き市民基金)
	城田 喜子	(公益財団法人かながわ生き生き市民基金)

公益社団法人フードバンクかながわ

〒 236-0051 横浜市金沢区富岡東 2-4-45

TEL : 045-349-5803

FAX : 045-349-5804

Mail : info@fb-kanagawa.com

2018年 2月 22日 設立



HPはこちら

2023年 6月 2,000部

編集デザイン：企業組合 エコ・アド

休眠預金活用法に基づく

中核的フードバンクによる地域包括支援体制助成

